



加悦高だより

真剣で真の教育、信頼関係にもとづく教育、伸ばす教育

今の自分は変えられる！

校長 南部 正治



今年の1月からフジテレビで「嫌われる勇気」という番組を放送していました。

これは、アドラー心理学を解説した同名の著書を原作とした刑事ドラマです。私は、今年度の第1号でアドラーの心理学から4つのことを要望していましたし、アドラーの心理学については興味があるので、この番組はよく見ていました。

私たちはよく「今の自分を変えたい」、でも「自分の性格を変えることは難しい」と思います。それに対してアドラー心理学は、「人は変えられる」、そして「誰もが幸福になれる」と考えます。

アドラー心理学では、現在の自分(結果)は、過去の出来事(原因)によって規定されるのではなく、いまの「目的」がそうさせていると考えます。つまり、人が変わらないのは、何かの目的を達成するために、自分で変わらないことを決定しているだけだということです。言い方を変えると、今の自分にいろいろ不満があったとしても、「このままのわたし」でいることのほうが楽であり、安心なのです。

それでは、変わるためにどうすればよいのでしょうか。アドラーは次のようなことを言っています。

- ◎劣等感をバネにする。
- ◎ありのままの自分を受け入れる。
- ◎「普通であることの勇気」を持つ。
- ◎「最も大切な目的は何か」を考える。
- ◎「わたしは誰かの役に立っている」という主観的な感覚を持つ。



加悦高展

2月18日(土)本校第2体育館にて加悦高展を行いました。書道・美術の作品展を中心に、合唱部と吹奏楽部の演奏を行いました。また、2年生アスリートスポーツコースの生徒によるトレーニング風景の発表も行いました。たくさんご来場いただきありがとうございました。

作品展



発表



第68回卒業証書授与式

平成28年度・第68回京都府立加悦谷高等学校卒業証書授与式が3月1日(水)午前10時から挙行政され、111名の卒業生が南部校長から卒業証書を渡されました。当日は、与謝野町教育長・塩見定生様をはじめ多くの御来賓、保護者の皆様に御出席いただき、厳粛かつ温かい卒業式を行うことができました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

卒業式では、生徒会長の吉岡里恵さん(2年・大宮中)の送辞の後、杉本朱理さん(3年・江陽中)が卒業生答辞を述べました。杉本さんは加悦谷高校で得た『絆』について語り、未来に向けて努力していく決意を新たにしました。



きもの着付け教室及び閉講式



レシテーションコンテスト



2月17日(金)、2年生の第4回レシテーションコンテストを開催しました。コミュニケーション英語Ⅱの授業内で選ばれた18名が課題文を発表しました。生徒たちは、緊張しながらもジェスチャーを交えたりなど工夫を凝らし、努力の成果を発揮しました。

2月11日(土)、平成28年度第3回PTAきもの着付け教室及び閉講式が開催されました。3回目の今回は3年生対象で女子生徒は振袖、男子生徒は袴を着付けていただきました。当日はあいにくの大雪でしたが、女子生徒14名、男子生徒2名の合計16名が参加しました。

御来賓に京都府議会議員 本田太郎様、丹後織物工業組合理事長 渡邊正義様をお招きし、本校茶道部によるお茶会の後、今年度のきもの着付け教室の閉講式を行いました。

今後の行事予定

日時	行事
3/17(金)	終業式
3/18(土)	入学予定者説明会
3/24(金)	2・3年教科書販売
4/10(月)	始業式
4/11(火)	入学式
4/12(水)	1年府高実力テスト
4/14(金)	1年オリエンテーション合宿①
4/15(土)	1年オリエンテーション合宿②
4/17(月)	1年代休日
4/22(土)	土曜授業
4/25(火)	心電図検診